

# 社会科学学習指導案

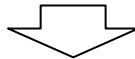
尾道市立栗原小学校

- 1 日時 平成24年11月14日(水)
- 2 学年・組 第5学年3組(男子17名 女子17名 計34名)
- 3 場所 第5学年3組教室
- 4 単元 情報化した社会とわたしたちの生活 「社会を変える情報とわたしたちの暮らし」
- 5 単元について

(1) 学習内容の明確化

① 学習指導要領の内容

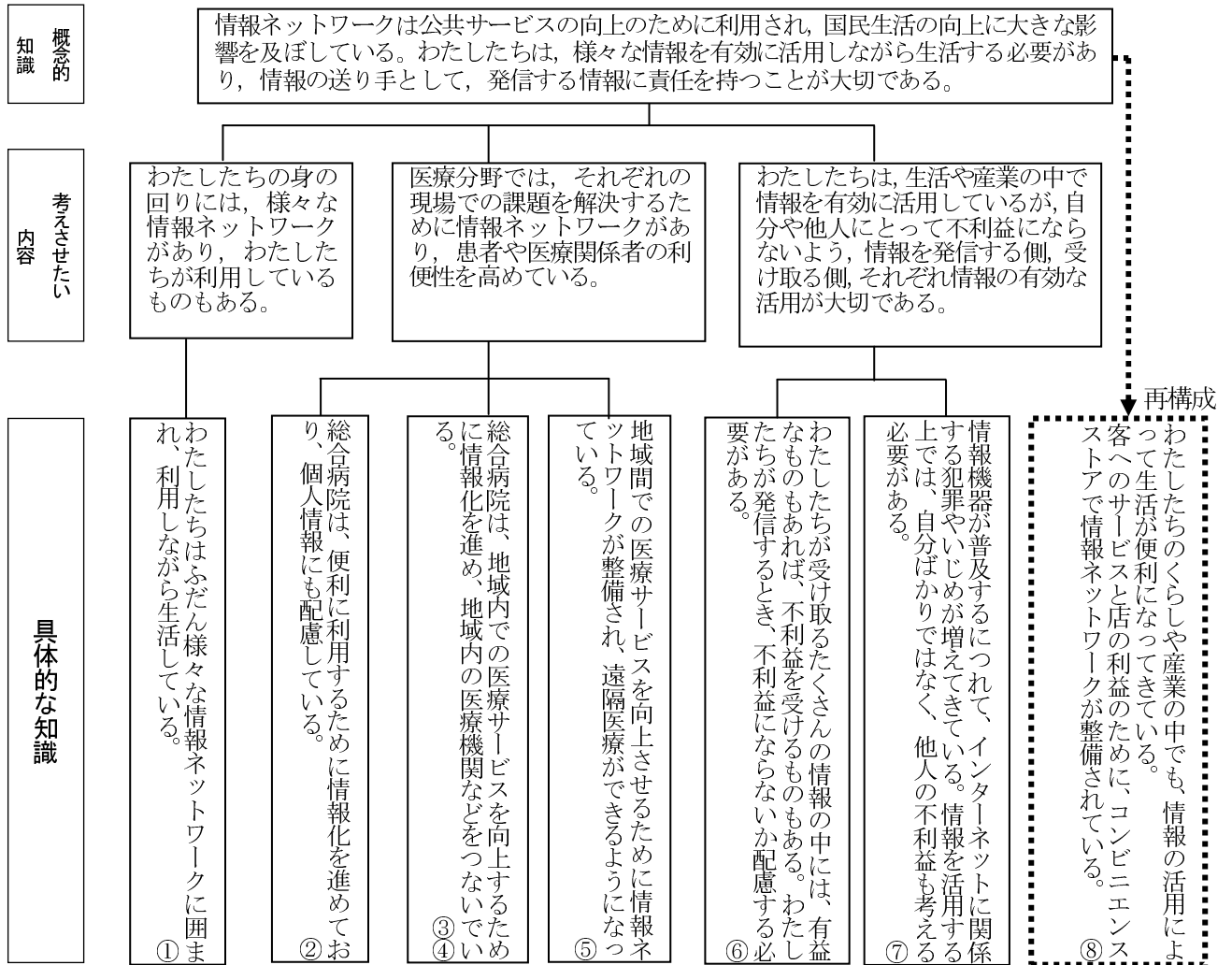
(4) 我が国の情報産業や情報化した社会の様子について、次のことを調査したり資料を活用したりして調べ、情報化の進展は国民の生活に大きな影響を及ぼしていることや情報の有効な活用が大切であることを考えるようにする。



○ 小単元における内容

イ 情報化した社会の様子と国民生活とのかかわり

② 知識の構造図



## (2) 学習材について

本小単元では、我が国の情報産業や情報化した社会の様子について、情報化した社会の様子と国民生活とのかわりを調査したり資料を活用したりして調べ、情報化の進展は国民生活に大きな影響を及ぼしていることや情報の有効な活用が大切であることを考えることをねらいとしている。

この小単元は、学習指導要領改訂で新たに加わった内容である。この数年で急速に情報化が進んだ情報ネットワークについて調べることにより、それらが情報と情報をつなぐ役割をしていること、情報ネットワークによってわたしたちが受けている公共サービスが便利になっていることを学習できる教材である。また、情報の有用性や役割、情報の適切な収集・活用、発信や伝達の仕方、情報化のもたらす様々な影響などを調べることを通して、情報化した社会において人々が主体的に生きていくためには、情報を有効に活用することが大切であることについて考えるとともに、様々な情報に対して適切に判断し、望ましい行動をしようとする能力や態度を身につけることができる教材でもある。

本小単元において、公共サービスにかかわる仕事に従事している人から話を聞いたり、パンフレットなどの資料を効果的に活用したり、コンピュータを実際に使ってインターネットで必要な情報を収集したりすることで、情報化の進展は、自分たちの生活を豊かにしていることを理解し、子どもたちが、自分たちがよりよく生きていくための情報の有効な活用を、これからの生活に生かすことができると考える。

## (3) 児童について

本学級の児童は、社会的事象について、興味を持ち、授業に取り組んでいる。しかし、検証テストの結果から、知識が浅かったり、事象と学習したことが結びついていなかったりするため、社会的事象を深くとらえていくことができていないことがわかる。(指定された言葉を使って、資料を読み取ることができた児童は3割弱にとどまっている。)また、資料を読み取るときも、数値の読み取りをする中で、事象を多面的にとらえることができず、資料の意図することを読み取ることが難しい児童が多い。

「情報」についてのアンケートの結果からも、情報に対する一面的なとらえがうかがえる。「情報にはどんなものがあるか」という問いに対し、情報イコールテレビのニュースととらえている児童が9割におよんだ。ニュースの中でも、情報とは、天気(台風)情報だととらえている児童がその中の8割を占めている。そして、数名の児童が、情報は新聞や本やインターネットなどから得ることができると回答していた。また、情報というものの自体、どんなものなのか理解できていない児童もいた。「情報が自分の生活の中でどんなことに役立っているか。」の問いに対しても、「出かける時に天気予報が役に立つ。」とか「台風がいつ頃来るかわかる。」などの回答が概ねであった。

本単元では、自分たちの生活の中で、新聞・テレビ以外にも情報があるということやその情報が自分たちの生活に役立っていることをつかませていく。また、情報は受け取るだけでなく、自分たちが与えることもあること、そして自分たちの生活と深く関わっていることを実感させていく。

そのために、資料から必要な情報を適切に取り出し、自分の考えを整理し、理由を明確にし、考えを進めていく。そして、友だちの意見を取り入れることで、一面的な捉え方だけではなく、自分の考えを広げようとする意識を高めていく。

## (4) 指導に当たって

指導に当たっては、まず、生活の中に多くの情報ネットワークがあり、私たちはそれを日々利用していることを知る。そして、医療分野での利用(医療ネットワーク)も私たちの生活に利便性を与えていることに気付かせる。また、同様にコンビニエンスストアの情報ネットワークも私たちの生活に大いに関連があることを話し合い、再構成させる。

そのために、尾道市の総合病院を取り上げ、自分の生活と結びつけながら学習を進める。そして、資料や既習事項、友だちの意見などを比較、関連付け、統合させることを通して、情報化社会の中で、多種多様な情報を瞬時に大量に受信したり、発信したりすることができるようになり、人々の生活の向上がはかられているという概念に気付かせたい。

まず、医療分野の情報ネットワークの仕組みについての学習では、関係図を作成させたり、実際にネットワークを利用させたりすることを通して、情報ネットワークの利便性について考えさせる。その中で、実際に公共サービスを利用しているのは、保護者などの大人なので、家庭でどうかかわっているか聞き取りをしたり、教師の実体験などを話したりして、情報ネットワークに対して親近感を持たせたい。病院を中心とした情報ネットワークや遠隔医療等を調べながら、情報ネットワークの向こうに数多くの人々の実際の活動があることを常にイメージさせ、情報ネットワークは、情報機器のつながりだけでなく人のつながりでもあることを考えて学習を進めていく。

次に、情報化の進展が国民の生活に大きな影響を与えていることの理解の上で、様々な情報を自分たちが有効に活用するにはどのように情報に接していかなければいけないかを考えさせる。身近な所にある携帯電話やコンビニエンスストアの情報化について、日頃何気なく利用しているものが、様々な情報や情報ネットワークによって、自分たちの生活を便利にしていることに気付かせる。この学習の中で、多種多様な情報を自分や他人にとって不利益にならないように活用していくことの大切さを理解させる。情報を発信する側、受け取る側、それぞれの情報の有効な活用のために、メディアリテラシーに触れ、情報活用には何が大切かを考えさせるようにする。

本時では、医療分野の情報ネットワークの仕組みの関係図をもとに、自分たちの身の回りの情報についても同様な利便性があることについて、解釈を交流し、互いの考えに学び合うことを意識した授業を展開していく。子どもたちの身近な存在であるコンビニエンスストアについて取り上げ、商品管理のほか、チ

ケット販売など多種多様なことについて情報ネットワークが活用され、公共サービスだけでなく、産業面でも情報ネットワークが生かされていることに気付かせる。そして、自分たちの生活には、情報は欠かせないものであること、複数の情報を統括して新たな情報を生み出していることを理解させる。

児童が毎時間、学習したことを整理できるように、授業後のまとめでは、課題に呼応したまとめとなるように、学習の中核となるキーワードを考えさせる。そして、それに対する自分の考えを振り返ることで、児童一人一人が基本的な知識のもとに、思考、判断、表現できるようにする。また、学習に関連する資料をインターネットや本から見つけたり、新聞記事や家の人からの聞き取りをしたりすることで、学習したことをより深められるようにしたい。

## 6 小単元の目標

- 情報化した社会の様子に関心を持って意欲的に調べ、情報ネットワークの発達など情報化の進展は生活の大きな影響を及ぼしていることを理解する。
- 情報化の発達には様々な利点とともに問題点もあることや、生活の中で様々な情報を有効に活用することが大切であり、情報を受け取るだけでなく送り手としても責任ある行動が望まれることを理解し、日常の生活に生かそうとする。

## 7 小単元の評価規準

ア 社会的事象への関心・意欲・態度	イ 社会的な思考・判断・表現	ウ 観察・資料活用の技能	エ 社会的事象についての知識・理解
①情報化した社会の様子に関心をもち、生活の中に普及している情報ネットワークの働きや自分たちの生活とのかかわりについて意欲的に調べようとしている。 ②社会に囲まれた生活に関心をもち、その利点や問題点について意欲的に調べ、情報を有効に活用しようとしている。	①情報化した社会の様子について、学習問題や予想、学習計画を考え表現している。 ②情報ネットワークを利用し、必要な情報を共有することによって、サービスの向上が図られ、役立てられていることを考え、発表したり文章に表現したりしている。 ③生活の中で情報を活用していることで、わたしたちの生活が便利になっていることを発表したり文章に表現したりしている。	①情報化した社会の様子について、各種の資料やインターネットを活用したり聞き取り調査をしたりして必要な情報を集め読み取っている。 ②生活における情報の活用の様子について、各種の資料やインターネットなどを活用して必要な情報を集め、情報化の進展には様々な利点と問題点があることを読み取ってまとめている。	①情報ネットワークは医療など公共サービスの向上に有効に活用され、わたしたちの生活を守ったり便利にしたりしていることを理解している。 ②わたしたちを取り巻く情報には、生活に役立つものだけでなく、一方的に送られてくるものや人に不利益を与えるものもあり、責任ある情報の活用が求められていることを理解している。

## 8 学習指導計画 (全9時間)

過程	時	○主な学習活動と内容	◎指導上の留意点	◇評価規準
であう	1	○生活の中には、インターネットや電子メールなどの情報があふれていることを知り、その情報どのようにわたしたちが活用しているのか話し合い、学習問題を設定する。	◎実際に家庭でどのような情報ネットワークを活用しているか事前に調べておく。 ◎ことば「情報ネットワーク」を読み、情報をやり取りすることができる理由を確認させる。	◇情報化した社会の様子に関心を持っている。 ア－①【関意態】 ◇情報ネットワークとわたしたちの生活とのかかわりに関心をもち、学習問題を設定している。 イ－①【思判表】
なぜ、病院やコンビニエンスストアでは、情報ネットワークを使うのだろうか。また、私たちの生活にどんな影響があるのだろうか。				
ふかめる	2	○尾道市の病院で情報が電子化している資料を調べ、その利便性について話し合う。	◎ノートに文だけでなく、図に描いたり、キーワードを使ったりしてまとめさせる。 ◎語句については、適宜意味をおさえる。	◇受診者情報やカルテの電子化についての資料や聞き取りを活用して医療ネットワークの利便性について考え、発表している。 イ－②【思判表】

	3 4	○総合病院を中心として地域医療が繋がっていることや救急車の情報システムについて調べ、分かったことを話し合う。	◎総合病院と診療所（かかりつけ医）をそれぞれの良さや、双方が役割分担したり協力したりすることの良さについて考えさせる。	◇情報ネットワークはわたしたちの生活にどのように役立っているか考え、医療現場における情報ネットワークの活用によりわたしたちの命や健康が守られていることを発表している。 ウー①【技】
	5	○情報ネットワークのキーワードをもとに、電子カルテなどの医療の情報ネットワークの利便性を考える。	◎情報の流れについて、図に描くとともに、運営者である医師と利用者である患者の思いや願いについて考えさせる。	◇情報ネットワークは、遠隔医療や在宅医療にも活用されており、医療サービスが向上していることを理解している。 エー①【知理】
ま と め る	6	○生活の中にあふれている情報について、情報を活用する方法について考える。	◎実際に自分たちが情報を活用して生活している場面について事前に調べておかせ。 ◎情報とかわる中で、困ったことを出させながら、情報の活用の仕方考えさせる。	◇生活の中での情報の活用に関心を持ち、情報の活用方法について考えている。 アー②【関意態】
	7	○情報化の進展によって生じている問題点について資料をもとに調べ、話し合う。 ○わたしたちは情報を受け取る側だけでなく発信する側にもなることに気付き、気をつけることを考える。 ○これまでのまとめをする。	◎情報化の進展による問題点に気付かせ、情報を発信する側、受け取る側二つの立場の観点からまとめさせる。	◇グラフ等の資料から、情報化の進展によって生じている問題点を読み取って話し合っている。 エー②【知理】 ◇情報を選んだり発信したりするとき注意することを考え、責任ある行動をとることの大切さを発表している。 ウー②【技】
い か す	8 <b>本 時</b>	○コンビニエンスストアで活用されている情報ネットワークについて話し合い、自分たちの生活の利便性を考える。	◎医療分野の情報ネットワークで習得した概念を使って、コンビニエンスストアに関する情報ネットワークの利便性を比較・関連付けながら考えさせる。	◇生活の中や産業において情報を活用していることで、わたしたちの生活が便利になっていることを根拠を明確にして表現している。
	9	○単元のまとめをする。		イー③【思判表】

## 9 本時の展開

### (1) 本時の目標 (8/9)

- 身近なコンビニエンスストアの情報化から、自分たちの生活が便利になっていることを再認識するとともに、自分たちが気付かない中で様々な情報が活用されていることについて、思考・判断したことを適切に表現することができる。

### (2) 本時の評価規準

- 生活の中や産業において情報を活用していることで、わたしたちの生活が便利になっていることを根拠を明確にして表現している。  
(イー③)

### (3) 設定した言語活動を通して育てたい力

- 経験や資料から身の回りの情報化について考え、根拠を明確にして、自分の考えを友だちに伝える力、自分の考えと比較したり、友だちの考えと関連付けたりして考える力をつける。

(4) 学習展開

	学習活動と発問	○指導上の留意点	☆資料 ◇評価規準 ( ) 評価方法
導入	<p>1 コンビニエンスストアクイズをする。</p> <p>2 この中で、情報ネットワークを使っているものを選ぶ。</p> <p>3 学習課題を確認する。</p>	<p>○コンビニエンスストアでできることについてクイズをする。</p> <p>○医療ネットワークで学習した情報の流れを念頭に入れながら、情報の流れを押さえる。</p>	<p>☆資料 ◇評価規準 ( ) 評価方法</p> <p>☆コンビニエンスストアでできること</p> <p>☆コンビニエンスストアの中の写真 (ATM・ロッピー・Famiポートなど)</p>
	<p><b>【学習課題】</b> コンビニエンスストアでは、どのような情報を何のために活用しているのだろうか。</p>		
展開	<p>4 コンビニエンスストアでのおにぎり (お弁当) の発注数のグラフを見て気が付いたことを発表する。</p>	<p>○行事がある時とない時で発注数に違いがあるものや天気 (気温) によって、発注数に差がある資料を使う。</p>	<p>☆おにぎりの発注数のグラフ</p>
言語活動のポイント	<p>5 コンビニエンスストアのオーナーさんは、どのような情報を活用しているのか考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・天気情報</li> <li>・近くの小学校の行事</li> <li>・地域の行事</li> <li>・過去のデータ</li> </ul>	<p>○商品がたくさん売れるように、商品が売れ残らないように情報を活用していることに気づかせる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p><b>手立て①</b> ○自分の予想を持たせ、そう考えた根拠を明確にさせる。</p> </div> <p>○自分の経験や今までの学習で分かったことをもとに考えさせる。</p>	<p>☆日時・天気を表した表</p>
	<p>6 ポスシステムによって得られたデータを見て気付くことを発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・どうやって調べたのだろうか。</li> </ul>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p><b>手立て②</b> ○ペアで考えを交流させ、自分の考えを持たせるとともに、友だちの考えを自分の考えの参考にする。</p> </div> <p>○ポスシステム (販売時点管理システム) を使って、商品の数の情報などが直接、中央管理システムにつながっていることに気付かせる。</p>	<p>☆おにぎりの販売数のグラフ</p> <p>☆年齢ごとにいつ買うか表したデータ</p> <p>☆レジ (作る)</p> <p>☆ポスシステムの資料 (レジのボタン部分の写真)</p>
	<p>7 おにぎりを発注するために、情報がどのように流れているか図に表す。</p>	<p>○情報の流れについて、医療ネットワークで学習したことを生かしながら、図式化する。</p> <p>○膨大な情報が、本部で管理され、集約された情報が、各店に送られていることをつかませる。</p> <p>○品切れにならないように商品を管理していることに気づかせる。その際も、情報が本部や配送センターに送られ、速くおにぎりが店に届けられていることも押さえる。</p> <p>○コンビニエンスストアのカードシステムに気づかせ、客の情報を集めていることを知らせる。</p>	<p>☆客、店、本部、配送センターの絵</p> <p>☆情報 (一方向と双方向)</p> <p>☆Tカード</p>

ま と め	8 学習のまとめを書く。	○コンビニエンスストアに、自分も気がつかないうちに、情報ネットワークが活用され、自分たちの生活が便利になっていることを明確にまとめさせる。	◇コンビニエンスストアにおいて情報を活用していることで、わたしたちの生活が便利になっていることを明確にして表現している。 イー③（発表・ノート） ※B基準に到達しない場合の手立て 板書の情報の流れをみて書かせる。
	<p><b>【学習のまとめ】</b></p> <p>自分が気付かないうちに、ぼくたちの生活の中には、情報が活用されていることが分かった。コンビニエンスストアでは、情報がすぐに本部に集められて、それが活用されているのに驚いた。自分の情報やいろいろな情報が、情報ネットワークで伝えられ、自分たちの暮らしも便利になっているのだと思った。</p>		
	9 本時の学習を振り返る。	○本時の学習を振り返って、気付いた事を書かせる。	